

東海道川崎宿起立 400 年(2023 年)に向けた基本的考え方

－推進ロードマップ－

川崎区では、東海道川崎宿の誕生から 400 年目に当たる 2023 年に向けて、「東海道川崎宿 2023 いきいき作戦」(※1)に基づき、東海道沿いの街路灯へのフラッグや史跡案内板、浮世絵マンホールの設置などの景観づくりのほか、「東海道川崎宿 2023 まつり」やウォークイベント、川崎宿が発祥と言われている「三角おむすび」を活かした取組など、地域住民との協働によるまちづくりを進めています。

川崎宿起立 400 年を迎える 2023 年へ向けて、平成 25 年に開館した「東海道かわさき宿交流館」を拠点に川崎の魅力をさらに発信し、自分達が住む「川崎・川崎宿」という地域資源を活かしたまちづくりを進めていくため、かつての宿場町の賑わいと地域間のより一層の交流を目指し、地域の多様な主体が中心となって一体的に取組を推進することができるよう、ロードマップを策定しました。

川崎宿においては、宿場町という面影はほとんど残っていませんが、かつては遠方の客が川崎を一時滞在の場として利用し、人が行き交い賑わい、また宿泊した際には「御紋むすび伝説」(※2)に象徴されるような、おもてなしがあったと思われます。そして、現在も区内には旧東海道沿いだけでなく、殿町地区(キングスカイフロント)も含め多くの宿泊施設が立ち並び、市内外を問わず、また、外国からも多くの人を訪れるとともに、さまざまなイベントが開催されています。



歌川広重「東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟」

「ここには宿場があった」ということを「川崎の魅力」として再認識し、これまでの取組やイベント、街並みづくりなどを発展させ、川崎宿とその周辺の価値の向上を図り、訪れる人を増やしていくことで住む人のさらなる愛着と誇りの醸成を目指していきます。

※1… 「東海道川崎宿 2023 いきいき作戦」

平成 14 年度に開催された市民参加のワークショップなどを経てまとめられた、東海道川崎宿の歴史や文化を活かしたまちづくりの市民提案書。東海道沿道を 5 つに分けたゾーン構想や、16 の具体的な取組案を示した市民提案プロジェクトなどが示されおり、平成 22 年度にはこれまでの取組の成果を見直し、周辺の環境の変化に対応するため、「東海道川崎宿 2023 いきいき作戦」の第 2 巻を発行しました。

※2… 「御紋むすび伝説」

徳川吉宗の一行が川崎宿に宿泊した際、三角にむすび、お盆の上に 3 つずつ並べ、徳川家の御紋に見立てて出された「御紋むすび」が川崎宿の名物となったのが三角おむすびの始まりと言われています。

1. 「(仮) 推進組織」の立上げ

- 2020 年度初頭を立上げ目標とする。
- 川崎宿 400 年を“地域全体で祝う”気運づくり、全体像の共有、実行・推進・連携体制の確保
- 地域団体、地元企業や事業者のほか商工・観光・教育関係者・市民活動団体等が参加
- 定期的に会合を持ち、全体の意思決定や調整、各プロジェクトの進捗確認・推進支援等を行う。
- 「東海道川崎宿 2023」も一団体として参加し、既存事業との融和を図る。

2. 「プロジェクト」の推進

(1) (仮) 推進組織による事業の推進

ア 東海道川崎宿 400 年事業に向けたプロジェクト

- (ア) 東海道川崎宿を地域資源とした川崎の魅力の発信
- (イ) 宿場町の賑わいの再創出



- (ウ) 自分たちが住む地域にさらに愛着と誇りの醸成

- (仮) 推進組織で主体的・積極的に進めていく。取り組む事業・内容・進め方等については(仮) 推進組織の場で検討・調整しながら推進し、区制 50 周年や東海道かわさき宿交流館との連携も視野に入れる。
- 川崎区の特性ともなっている訪日外国人の増、2019 年 12 月に開館予定のアートガーデン特別展示室（浮世絵展示室）や、2020 年度完成予定の羽田連絡道路による、羽田空港を中心とした成長戦略拠点の機能強化やアクセス性向上などを見据えた外国人旅行者の誘客促進とインバウンド効果を視野に入れ、推進に取り組む。

イ 認定プロジェクト

(仮) 推進組織の参加組織やその他主体等で個別に進めていく事業・取組を認定して、広報面等可能な支援を実施するなど連携していく。

(2) 東海道川崎宿 2023 いきいき作戦に基づく事業の推進

東海道川崎宿を活かした地域活性化推進組織（東海道川崎宿 2023）と区役所の協働事業のうち、2023 年に向けて継続していく事業

3. 取組スケジュール

以下の 4 期を設定。各期間内の実施計画・目標等を定めて進行管理・推進を図る

(1) 立ち上げ期：2019・2020 年度

地域のさまざまな関係者に働きかけ、(仮)「推進組織」を立ち上げる。

2023 年に向けた全体像を共有するとともに、プロジェクトの検討・選定・認定を始める。

できるプロジェクトから先行して実施、情報の共有・周知を図る。

(2) プレイベント期：2021・2022 年度

各プロジェクトの一層の推進、新たな関係者・賛同者の獲得を目指す。

2023 年における実施内容を視野に入れたプレイベントを開催する。

2024 年度以降の組織・事業の在り方について検討を始める。

(3) 川崎宿 400 年：2023 年度

川崎宿 400 年を地域全体で祝うための、さまざまなプロジェクト・事業の開催・実施

市内外から多くの参加者、お客様を呼び込み、広く川崎／川崎宿の魅力を発信

他宿場等との連携・協力も計り、歴史文化を活かしたまちづくりの価値観の共有を図る。

(4) 魅力の創造・発信を推進するネットワークの継続：2024 年以降

川崎宿 400 年を迎えた 2023 年という節目をステップとし、地域の魅力を創造・発信するネッ

トワークの継続・発展、担い手たちが引き続き活躍できる場の形成を図ることで、区民主体の

まちづくりを推進し、担い手を次世代へ引き継いでいく。

「自分たちが住む地域にさらに愛着と誇りを持ってもらう」ことをプロジェクト推進のベースにすることについて

本市の「川崎市シティプロモーション戦略プラン」（平成 27 年 3 月）では、今後の狙いとして「市民が愛着や誇りを持って川崎市に住み、そこで働き、学び、川崎市民としてのアイデンティティ（地域への帰属意識）を形成するという視点を強化し、まちの一層の活性化や持続的な発展を目指します。」としています。

このロードマップにおいても、東海道川崎宿とその周辺、ひいては川崎区の活性化のために、「愛着」と「誇り」をキーワードにして、2023 年に向けたプロジェクトを推進していくこととします。

| | (主な) 今までの取組 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021・2022年度 | 2023年度 | 2024年度以降 |
|---------------------------|-------------|---|--------------------------|--|--|--|--|
| | | | | 【立上げ準備期】 (仮)推進組織立上げ プロジェクト検討開始 先行プロジェクト開始 | 【イベント期】 各プロジェクト推進 連携・ネットワークづくり イベントの開催 | 【川崎宿400年】 地域全体で祝う 内外から参加者・お客様 まちづくりの価値観の共有 | 【魅力の創造・発信を推進するネットワークの継続】 ネットワークの継続・発展 次世代への継承 |
| 川崎区の動き・状況 | | | アートガーデン特別展示室(浮世絵展示室)開館予定 | 東京2020オリンピック・パラリンピック 佐藤惣之助生誕130周年 羽田連絡道路完成予定 | 坂本九さん生誕90周年(2021) 川崎市役所新本庁舎完成予定(2022以降) 区制50周年(2022) | 東海道川崎宿起立400年 東海道川崎宿交流館10周年 | 市制100周年(2024) |
| (仮)推進組織 | | | ワークショップ開催 ロードマップ策定(区) | 参加呼び掛け プロジェクト検討 | プロジェクトの推進 (参考:2018実施WS提案事業の検討・実施) ○未来へつなく東海道川崎宿文化(文化・伝統) ⇒東海道沿道を活用したアーカイブ ○六郷川1623川崎宿(自然・コミュニティ) ⇒六郷の渡しの復活 ○おもてなし(街並み・案内) ⇒各所で川崎宿を回遊 ○川崎宿400年記念まつり(祝賀イベント) ⇒お神輿パレード、おむすび音頭(盆踊り) | プロジェクトの推進 (仮)推進組織から創出される新たな取組の検討・実施 (区制50周年や市制100周年との連携・交流館との連携) (インバウンドを見据えたおもてなし) | 春から秋にかけてのイベントの実施 東海道川崎宿400年事業 400年事業をレガシーとした区民主体のまちづくり |
| 東海道川崎宿2023いきいき作戦に基づく事業の推進 | 賑わいの創出 | ウォークイベント | 発見! 川崎宿ウォーク | 事業推進 | 「東海道川崎宿2023」参加 | | |
| | | 東海道川崎宿2023まつり | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 東海道シンポジウム川崎宿大会(秋頃) |
| | 文化・伝統の継承と発信 | シンポジウム、 狂言教室 九さんコンサート 小学校特別授業 その他PR事業 | 川崎宿大学 | 事業推進(講師・パネラー等の発掘) | シンポジウム企画の検討 | | |
| | まちなみ整備 | フラッグ、案内板・トランスボックス・タペストリー・その他 | フラッグ設置推進(2019で一通り終了) | 維持補修(更新) | 商店街の協力により維持管理 | | |
| | | | | | | | 必要に応じた(時点)修正、補修、設置(プロジェクト・事業との調整等) |

川崎区の状況・動き

- アートガーデン特別展示室（浮世絵展示室）開館（12月予定）
- ルフロン川崎 リニューアルオープン（4月から第1弾）

（仮）推進組織 立上げ準備

■ロードマップ内容の周知 （仮）推進組織結成の周知

- ▶関係団体・企業等への説明
- ▶広報チラシの作成・展開

■（仮）推進組織 参加への呼び掛け・協力依頼

- ▶対象団体・企業等の検討→声掛け・協力依頼
- ▶市政だより等によるPR

■準備会議の開催

- ▶関係者顔合わせ
- ▶中核になる団体や人材の発掘等

（仮）推進組織 対象候補

- ・2018年度WS参加者
- ・町内会（主に中央地区）
- ・東海道川崎宿2023 ・新宿青年会
- ・寺社
- ・商店街 ・飲食店 ・商業施設
- ・宿泊施設等
- ・東海道かわさき宿交流館
- ・川崎市観光協会 ・川崎商工会議所
- ・鉄道事業者 ・地元企業 ほか

東海道川崎宿2023いきいき作戦に基づく事業の推進

【賑わいの創出】

- 東海道川崎宿2023まつり 4月7日（日）の開催、2020年度の企画・準備
※2021年度以降は（仮）推進組織のプロジェクトとして実施を想定
- ウォークイベント 手法・時期等の見直し 町会等に呼びかけた推進組織形式等
※2020年度以降は（仮）推進組織のプロジェクトとして実施を想定

【文化・伝統の継承と発信】

- 川崎宿大学 東海道かわさき宿交流館等において2回程度開催
- 地域イベントでのPR
▶社協福祉まつり、一行寺閻魔寺寄席、交通安全フェスタ、川崎小学校授業ほか

【街なみ整備】

- フラッグの設置 八丁畷駅前～市場上町（六郷橋⇄市場上町の旧街道筋 設置終了）
- タペストリー掲出の取組
- 八丁畷駅前（京急電鉄所有地）有効活用事業
▶石柱等設置の打診継続（関連部局との情報共有）

【その他】

- 2023年に向けた活動形態の検討
▶（仮）推進組織への参加準備、2023年に向けた各事業の再整理・進め方検討 ほか
- 東海道シンポジウム全国大会 藤枝宿大会（秋）への参加、2023年度大会誘致活動の継続
- 東海道シンポジウム東京・神奈川ブロック会議 会議（年2回）への参加

川崎区の状況・動き

- 羽田連絡道路完成予定
- 佐藤惣之助生誕 130 周年
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催（夏）
- 新川通り自転車レーン完成予定※片側のみ
- 川崎区企業市民交流事業 25 年 発足は平成 7 年、1995 年

（仮）推進組織 立上げ→プロジェクトの推進

■（仮）推進組織の立上げ→運営

- ▶定例会議の開催（年 2 回程度を想定）
- ▶活動状況の周知・広報 初期はニュースレター等の発行など

■プロジェクトの検討→絞り込み

- ▶2018 年度実施 WS 提案 + （仮）推進組織での新たな提案の検討
- ▶実施プロジェクトの絞り込み・選定

■ウォークイベント

■東海道川崎宿 2023 まつり

- ▶2021 年度の企画・開催準備

■認定プロジェクトの推進

- ▶認定事業の仕組みの確立、ロゴの作成・周知等

※（仮）推進組織が直接担わないが応援する、2023 年に向けた動きに関連づける取組

※新たなコラボ、連携・協力の推進

2018 年度開催の WS(ワークショップ)での主な提案（プロジェクト検討のたたき台）

●未来へつなぐ東海道川崎宿文化【文化・伝統】

400・2023 川崎大絵画作品展、民謡・踊りの伝承・祝い唄の作成

その他：アーカイブ、学校との連携

●六郷川 1623 川崎宿【自然・コミュニティ】

川崎宿と多摩川の回遊を活かした自然文化体験&コミュニティづくり

六郷の渡しの復活

その他：ウォータースポーツ体験、ハゼ釣り

●川崎宿案内・おもてなし【街並み・案内】

川崎宿の楽しみ方を提案、解説版、モニュメント、夜景・イルミネーション

その他：駅周辺の案内板、ガイドマップの充実ほか

●川崎宿 400 年記念まつり【祝賀イベント】

東海道シンポジウム川崎宿大会（全国大会）の開催、お神輿パレード

その他：飛脚リレー、コスプレ、競輪場を活用したイベント、市役所本庁舎の活用など

●2023 川崎宿 PR 大作戦【広報・PR】

2023 プロモーション

その他：2023 チャレンジ、カウントダウン、キャラクター作りほか

●川崎・川崎宿名物づくり【地域産業の振興】

川崎宿を代表する名物の開発、400 年記念グッズ等の企画と販売

その他：川崎宿アンテナショップ、53 次物産展、川崎宿に宿泊しようほか

東海道川崎宿 2023 いきいき作戦に基づく事業の推進

【賑わいの創出】

- 東海道川崎宿 2023 まつり 2020 年度の祭りの開催
※2021 年度以降は（仮）推進組織のプロジェクトとして実施を想定

【文化・伝統の継承と発信】

- 川崎宿大学 2 回程度開催
- 地域イベントでの PR
▶ 社協福祉まつり、一行寺閻魔寺寄席、交通安全フェスタ、川崎小学校授業ほか

【その他】

- 東海道シンポジウム全国大会、東海道シンポジウム東京・神奈川ブロック会議

【街なみ整備】

- フラッグの維持管理 六郷橋⇔市場上町の旧街道筋
- タペストリー掲出の取組
- 八丁囃駅前（京急電鉄所有地）有効活用事業 石柱等設置の打診継続（関連部局との情報共有）

川崎区の状況・動き

- 坂本九さん生誕記念 80 周年

（仮）推進組織 プロジェクトの推進

- （仮）推進組織の運営
 - ▶定例会議の開催
 - ▶活動状況の周知・広報 PR のプロジェクト化
- プロジェクトの推進
 - ※選定された実施プロジェクトの着手・推進
- ウォークイベント
- 東海道川崎宿 2023 まつり
- 認定プロジェクトの推進（継続）

東海道川崎宿 2023 いきいき作戦に基づく事業の推進

【賑わいの創出】

- 東海道シンポジウム川崎宿大会 企画検討開始、2023 年秋開催予定
 - ※主に 1 日目のシンポジウム部分の企画を中心に
 - ※2 日目のおもてなしイベントや川崎宿体験の部分は（仮）推進組織での実施を想定

【文化・伝統の継承と発信】

- 川崎宿大学 2 回程度開催
- 地域イベントでの PR
 - ▶社協福祉まつり、一行寺閻魔寺寄席、交通安全フェスタ、川崎小学校授業ほか

【その他】

- 東海道シンポジウム全国大会、東海道シンポジウム東京・神奈川ブロック会議
- 団体（東海道川崎宿 2023）の未来像の検討 2023 年以降の活動・組織のあり方の検討

【街なみ整備（維持管理）】

- フラッグの維持管理 六郷橋⇔市場上町の旧街道筋
- タペストリー掲出の取組
- 案内板等の修正 ※必要に応じて

川崎区の状況・動き

- 川崎市役所新本庁舎完成予定（2022年度以降）
- 区制50周年
- 東海道かわさき宿交流館 指定管理事業第3期の募集

（仮）推進組織 プロジェクトの推進

■（仮）推進組織の運営

- ▶定例会議の開催
- ▶活動状況の周知・広報 PRのプロジェクトの推進

■プロジェクトの推進

※選定された実施プロジェクトの着手・推進

- ウォークイベント 2022年度の開催、2023年度のあり方検討
- 東海道川崎宿2023まつり 2022年度の開催、2023年度のあり方検討
- 東海道シンポジウム川崎宿大会 2023年秋開催の2日目（おもてなし・イベント）企画・準備
- プレイベント等の開催
※2023年に向けた士気・気運・雰囲気づくり、2023年単年では難しい記念事業の着手など
- 認定プロジェクトの推進（継続）

東海道川崎宿2023いきいき作戦に基づく事業の推進

【賑わいの創出】

- 東海道シンポジウム川崎宿大会 2023年秋開催予定、1日目（シンポジウム）の企画・準備

【文化・伝統の継承と発信】

- 川崎宿大学 2回程度開催
- 地域イベントでのPR
▶社協福祉まつり、一行寺閻魔寺寄席、交通安全フェスタ、川崎小学校授業ほか

【その他】

- 東海道シンポジウム全国大会、東海道シンポジウム東京・神奈川ブロック会議
- 団体（東海道川崎宿2023）の未来像の検討 2023年以降の活動・組織のあり方の検討

【街なみ整備（維持管理）】

- フラッグの維持管理 六郷橋⇄市場上町の旧街道筋
- タペストリー掲出の取組
- 案内板等の修正 ※必要に応じて

川崎区の状況・動き

- 川崎小学校創立 150年
- 東海道かわさき宿交流館 10周年

(仮) 推進組織 東海道川崎宿 400年プロジェクトの実施

■ (仮) 推進組織の運営

- ▶定例会議の開催
- ▶活動状況の周知・広報 PR のプロジェクトの推進

■ (仮) 東海道川崎宿 400年プロジェクトの実施(春から秋にかけての開催)

※地域全体で盛大に祝うイベント・事業の開催・実施

■ウォークイベント、東海道川崎宿 2023まつり

※2023 当年の各イベントのあり方については (仮) 推進組織の場で前年度から検討

例：ウォークイベント、東海道かわさき宿 2023 祭など

シンポジウム 2 日目のおもてなし・イベントとしての開催/個別開催など

■東海道シンポジウム川崎宿大会 春から秋の開催 2 日目 (おもてなし・イベント) 企画・準備

■その他記念イベントの開催、記念事業の実施

■認定プロジェクトの推進 (継続)

東海道川崎宿 2023 いきいき作戦に基づく事業の推進

【賑わいの創出】

■東海道シンポジウム川崎宿大会 1 日目 (シンポジウム) の開催

【文化・伝統の継承と発信】

■地域イベントでの PR

- ▶社協福祉まつり、一行寺閻魔寺寄席、交通安全フェスタ、川崎小学校授業ほか

【その他】

■東海道シンポジウム全国大会、東海道シンポジウム東京・神奈川ブロック会議

【街なみ整備 (維持管理)】

■フラッグの維持管理 六郷橋⇄市場上町の旧街道筋

■タペストリー掲出の取組

■案内板等の修正 ※必要に応じ

(仮) 推進組織 総括 → 400年事業をレガシーとした区民主体のまちづくり

■ (仮) 推進組織の総括

- ▶活動の総括
- ▶東海道川崎宿を活かしたまちづくり、まちづくり組織の今後のあり方の検討と見直し
※事業やイベントの継続/非継続やその運営の形、次世代への継承方法など

■東海道川崎宿 2023 いきいき作戦に基づく事業の推進

- ▶活動の総括
- ▶東海道川崎宿 2023 (既存団体) の今後について見直し

※ (仮) 推進組織や東海道川崎宿 2023 での検討結果を受けた事業やイベントの継続検討

東海道川崎宿起立 400 年(2023 年)に向けた基本的考え方

ー推進ロードマップー

平成 31 年 3 月

川崎区役所地域振興課

電話 0 4 4 - 2 0 1 - 3 1 3 6